

大阪市立大学生協 友だちフェスタ2021



[新学期]

取り組み概要

日時：3月29・30日

場所：Zoom

参加者数や組合員の反応：先輩に直接話を聞いて友だちもできて楽しかったという声があがりました。

背景や概要：新入生に、気軽に話せる友達や、相談できる先輩を作ってもらうため、少人数の班に分けてゲームを行いました。

新入生に寄り添った新学期

POINT.1

場を明るくする声掛け



友だちフェスタのZoomの部屋が開き、新入生が続々と入ってきた時、3年生が率先して新入生に声をかけていました。「保護説してくれた子おる?」「何の媒体で入ってくれてる?」などとたくさん声をかけていました。

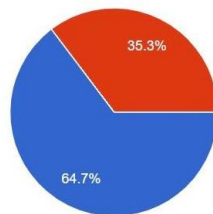
かしこまった雰囲気にならないよう「みんな今日は来てくれてありがとうございます!!!」とかなり元気に伝えるなど、オンラインでも元気で明るい雰囲気で企画を行い、新入生も笑顔で企画をスタートしていました。

POINT.2

参加者の声に耳を傾け、話し合う

1日目では“狭く深く”友だちとの関わりをもってほしいという想いで企画を行っていましたが、オンラインの限られた時間で「深く」なることは難しいとアンケート結果を見て考え、2日目では“広く浅く”つながりを作ってもらうことを意識していました。

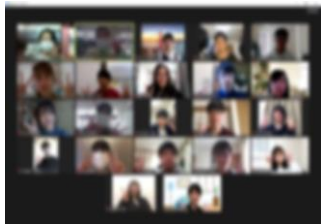
ゲームごとに班のメンバーを入れ替えて顔見知りを増やし、新入生が関わる人数を増やしたことで、「友だちができた」という声を1日目より多く聞くことができました。



▲青：とても楽しかった
赤：楽しかった

POINT.3

一人一人に丁寧な相談対応



友だちフェスタ最後のプログラムとして、相談会を行っていましたが、学科の話や教授の話、サークルの話など新入生からの様々な質問に一人ずつ丁寧に答えていました。質問の答えを聞いて新たな疑問点ができたり、参加者の質問を同じように疑問に感じた新入生がさらに質問し、終わるころには新入生も笑顔で組織部メンバーと話し、楽しい雰囲気のまま終わることができました。

質問に答えるだけでなく、その内容にまつわる雑談もすることで、大学生活をより想像しやすくしていました。